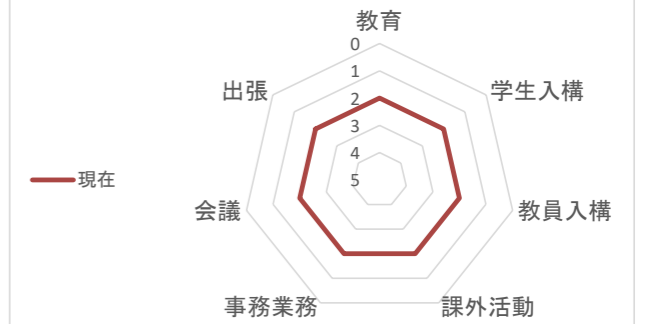


○現在の警戒レベル

レベル	定義	
1	要注意	東京都に感染者が発生し、感染拡大防止及び安全配慮が必要な場合。
2	警戒	東京都内における大規模な集団感染等はないものの、感染が拡大している場合。
3	高度警戒	東京都内における大規模な集団感染、感染経路不明者の増加等、感染の危険性があるものの、休校要請がない場合。または、学内で感染者の発生がある場合。ただし、状況によりレベル4に変更する場合もあり。
4	緊急事態	東京都が特定（警戒）都道府県となった場合。国の緊急事態宣言により、国や都による一斉休校要請のある場合、キャンパス内の複数部局で感染者の発生又はクラスター感染の発生がある場合、など。

具体的な活動指針「レベル」



○具体的な活動指針

◆塗りつぶされている部分が大学の現状にあたります

レベル	教育 (講義・演習、実験・実習)	学生の入構基準	教員の入構基準	学生の課外活動	事務業務 (事務、技術職員、アルバイト、派遣職員を含む)	会議	出張・旅行 (全構成員)
0	通常通り	通常通り	通常通り	通常通り	通常通り	通常通り	通常通り
1	○感染防止対策の上、講義・演習の実施可	○感染防止対策の上入構	○感染防止対策の上、研究活動可	○感染拡大防止に最大限の配慮の上、可とする	○感染拡大防止に留意して通常勤務	○感染防止対策の上、対面会議可	○注意して流行地域への出張・旅行可
2	○新しい生活様式の徹底教育 ○講義は、原則、遠隔と対面授業で行う ○実習について、感染防止対策の上実施	○感染防止対策の上入構 ○時差登校を奨励 ○学部学生（卒論生を除く）の活動時間は、20時までとする	○在宅での研究活動を推奨	○学内外を問わず原則全ての活動は届出制とする ○オンラインでの活動は可	○在宅での業務を推奨	○可能な限りオンライン会議を推奨	○流行地域への不要不急の出張・旅行を自粛
2.5	○新しい生活様式の徹底教育 ○講義は、原則、遠隔授業で行う ○実習について、感染防止対策の上、届出のもと実施	○感染防止対策の上入構 ○大学院の研究・学部の卒業研究に関して遠隔で実施可能な研究は在宅で行う ○学部学生（卒論生を除く）の活動時間は、17時までとする	○時差出勤の感染防止対策の励行	○学内外を問わず原則全ての活動禁止 ○オンラインでの活動は可	○時差出勤等の感染対策を推奨	○感染防止対策（4㎡/人程度のスペース確保）の上、対面会議可	○海外からの帰国者は、国が定める水際対策に準じて対応を行う。
3	○新しい生活様式の徹底教育 ○講義・演習の対面授業の全面停止（ICTを使った遠隔授業のみ）	○原則入構禁止（例外事項あり*2）	○届出制による入構 ○在宅での研究活動と併用 ○ローテーションでの研究活動	○学内外を問わず全ての活動禁止	○大学業務を維持・継続するために必要数が出勤 ○時差出勤可	○原則、オンライン会議のみ可	○当面の間、出張は厳格に管理 ○原則、緊急事態宣言対象地域への不要不急の出張・旅行の禁止 ○その他地域への不要不急の出張・旅行は自粛
3.5	○必要最少人数による実験のみ可（教員指導の下で）	○原則入構禁止（例外事項あり*1）	○届出制による一部入構制限 ○在宅での研究活動と併用 ○ローテーションでの研究活動	○オンラインでの活動のみ可	○在宅勤務可	○4㎡/人程度のスペース確保の上、緊急かつ必要性のある場合のみ対面会議可	○海外からの帰国者は、帰国後2週間は出勤・登校をせず自主隔離を行う
4	○原則、授業のための登学禁止 ○ICTを使った遠隔授業のみ実施可 ○学修機会保証等のため、事前に本学が認めた者のみ可	○大学院生、学部生の入構禁止 ○最終学年の大学院生（D）のみ入構可	○原則、在宅での研究活動のみ（コロナ関連研究は除く） ○入構を禁止 ただし、安全確保、研究継続に必要な資産等（生物・精密機器等）維持のための最低限の教職員等のみ入構可	○学内外を問わず全ての活動禁止（状況に応じて施錠）	○原則、在宅勤務のみ可 ○大学機能の維持のために最低限の職員のみ短時間勤務可	○対面会議禁止 オンライン会議のみ	○全ての出張・旅行を禁止 ○海外からの帰国者は、帰国後2週間は出勤・登校をせず自主隔離を行う
5	大学封鎖（ロックダウン）						

学生の入構基準

*1 次の要件に限り届出を行い、大学が認めた場合は入構を認める

- 1.大学院の研究・学部の卒業研究
- 2.就職活動においてやむを得ない場合
- 3.図書館での文献検索等
- 4.事務局等での諸手続き
- 5.ロッカー室等の荷物の引取、生協店舗での教科書購入

*2 「*1」の要件に加え、遠隔授業受講のためのアクセスポイント(Wi-Fi)を利用する場合は届出を行い、大学が認めた場合は入構を認める